

元町だより

2月特別号



令和3年2月吉日
京都市立元町小学校
校長 田嶋 真由美

令和2年度 元町小学校 第2回学校評価のご報告

花の小さな蕾に春の訪れを感じるこの頃です。日頃は本校の教育活動にご理解ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。1月末に実施した「第2回学校評価アンケート(保護者)」「元町っ子アンケート(児童)」「教職員自己評価」の結果を総合的に分析して、今後よりいっそう推進すべき点や改善点について考察しました。限られた紙面ではありますが、以下にご報告させていただきます。

元町小学校の教育目標 夢と笑顔があふれる学校

～共に学びあい 自らの手で 未来を切り拓く子どもの育成～

目指す子ども像 わかる子ども 楽しみ大切にしあう子ども 元気な子ども

概要

本校では、今年度、生活科、総合的な学習の時間を研究教科とし、「主体性」「論理的思考力」「発信」というキーワードを掲げ、子どもたちの「自ら学ぶ」「自ら発信する」力を一層伸ばすこと目標に「様々な体験活動から自分の思いや考えをもち、自分の言葉で話すことができる子ども」を目指して学校教育活動を進めてきました。しかし、新型コロナ感染症の拡大や緊急事態宣言の発令により、グループでの交流学習ができにくい状況でした。

学校評価においては、学校教育目標の目指す子ども像に照らし合わせて、「わかる子ども」「楽しみ大切にしあう子ども」「元気な子ども」の目標に合うように評価項目を設定しています。また、学校教育目標の具現化を目指すために、教職員はもちろん、保護者や子どもたちについても自己評価をする形式をとっています。例えば、保護者アンケートでは、「～するようにお子たちにお声かけいただいているか」という表記にさせていただいている。

児童の「元町っ子アンケート」については、ほとんどの項目で80%以上の児童が「できている」と答えていますが、第1回の結果より低くなった項目も多くあります。詳しくは裏面にて報告させていただいている。

保護者の「学校評価アンケート」は回収率が95%でした。第1回に引き続き、全体を通して概ね実現度が高いという評価をいただきました。第1回の結果と比べて実現度が高くなった項目が多くありました。これは、保護者の皆様が教育に対する意識を高く持たれ、本校の教育方針にご理解やご協力をいただき、ご家庭でも子どもたちへの声かけや励ましをいただいているからと考えています。しかし、実現度が低くなった項目もありました。今後も学校と保護者が学校教育目標に向かって、協力し合って子どもたちの心身ともに健やかな成長を目指していきたいと思います。

教職員自己評価については、第1回の結果に比べて実現度が高くなった項目が多くありましたが、まだ実現度が低い項目もありました。全教職員が同じ姿勢で学校教育目標の具現化に取り組んでいきたいと思います。今回の学校評価の結果やいただいたご意見などについては学校運営協議会でも取り上げて話し合いました。

今後、子どもたちに指導をしたり、取組内容の検討や見直しをしたりして元町小学校の教育活動に活かしていきたいと思います。お忙しい中、学校評価にご協力いただきありがとうございました。

○学校評価(児童・保護者・教職員)の結果

実現度は『よくできている』・『だいたいできている』を合わせた数値

	質問項目	児童実現度	保護者実現度	教職員実現度
学校生活全体	1 学校で楽しく過ごす	87%	93%	100%
	2 進んであいさつをする	82	89	92
	3 チャイムや時間を守る	90	98	100
わかる子ども	1 授業はよくわかる(児童) 学習内容でわからないことを教員に聞く(保護者)	93	90	92
	2 授業中、話す、聞く、書くなどのけじめをつける	89	85	100
	3 進んで発表する	67	69	100
楽しみ大切にしあう子ども	1 友だちと仲良くする	96	98	100
	2 一人一人の友だちを大切にする	95	97	100
	3 約束や決まりを守る(児童) ルールやマナーを守る(保護者)	92	100	100
元気な子ども	1 早寝・早起きをする(児童) 望ましい生活習慣が身に付くようにする(保護者)	71	91	78
	2 外で遊んだり、体を動かしたりする(児童) 食事や運動などの面で、お子たちの健康増進に気を配る(保護者)	89	95	92
	3 きちんと歯磨きをする	95	88	71
+αの取組	1 お手伝いなど自分でできることを見つけて「+α」できることをする	73	63	92
	2 毎日、家で自分から進んで学習する(児童) 宿題や予習・復習、自主学習など進んで家庭学習をする(保護者)	87	81	85
感染症予防	1 元町スタイル「てまきでははは」をする	87	94	100

主な成果と課題

<学校生活>

第1回に比べると3項目とも児童の実現度が5ポイント以上低くなっています。コロナ対策や緊急事態宣言の発令のため、学校で子どもたちはいろいろな制約を課せられています。児童が楽しみにしていた行事も中止せざるをえなかったことも原因のひとつだと考えられます。今後、このような状況が続くのであれば、行事などどうすれば実施できるのか検討をしていく必要があります。保護者の皆様もアイデアなどがございましたら、ぜひお聞かせください。

<わかる子ども>

教職員は「進んで発表する」ように働きかけていますが、できていると答えた児童は67%で、第1回より実現度が低くなりました。本来ならば、授業ではグループ交流など自分の意見を発表する機会を多く設けるようにしていましたが、感染症拡大防止のため、グループ学習ができにくくなっています。そこで今年度はタブレットなどICT機器を活用し、新しい形でのグループ交流を試みてきました。本校の研究目標である『発信する力』をつけるために、今後もICT機器を活用し、子どもたちの学習を支援できるように研究を進めていきたいと思います。

<楽しみ大切にしあう子ども>

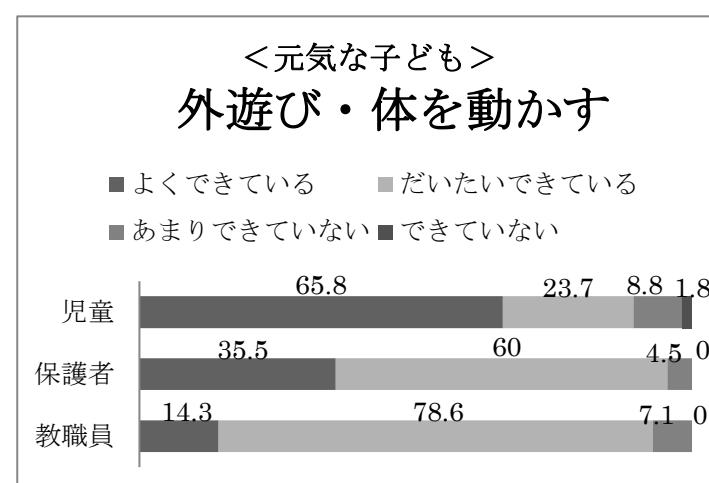
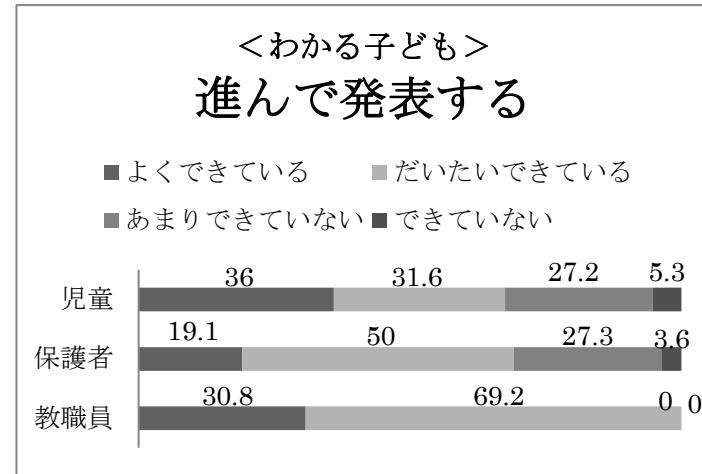
児童、保護者とも実現度が90%以上でした。第1回と比べると「友だちとなかよくできていますか」の項目が高くなりました。ただ「できていない」と答えた子どももいます。今年度例年に比べてたてわり活動があまり活動できませんでしたが、全校遠足はたてわりグループで行くことができました。小規模校である本校のよさを活かして、学年を超えた交流はこれからも進めていきたいと思います。また、全教職員で一人一人の子どもに寄り添い、人権を大切にする心を育んでいきたいと思います。

<元気な子ども>

今年度は健康を意識する1年間になりました。子どもたちはいろいろな制約の中、毎日元気に登校しています。休み時間には多くの子どもたちが運動場や中庭で楽しく遊ぶ姿が見られました。

第1回と比べると「外で遊んだり、体を動かしたりしていますか」と「きちんと歯磨きをしていますか」という項目の実現度が高になりました。コロナ禍で体育の種目や休み時間のボール遊びなど制約が多い中、子どもたちは工夫して外遊びをしていることがわかり、頼もしく思います。「歯磨き」についても第1回よりも実現度が高になりました。学校では給食後に歯磨きをすることができない状況が続いているが、歯磨き強化週間などでご家庭で取り組んでもらっている成果だと思います。

免疫力を高めるためにも望ましい生活リズムを確立できるように、引き続きご支援よろしくお願いします。



<+αの取組>

昨年度から「+α」という言葉で、子どもたちに自分のための「+α」、周りの人のための「+α」など、少しプラスすることで自分も周りの人も笑顔になり、笑顔があふれる学校にしていこうという取組をしています。「+α」という言葉も子どもたちだけでなく、保護者や地域の方にも定着してきたように思います。

学習面でも「自分から進んで学習する」と答えた児童は87%です。今後も自ら課題を見つけ、自分で目標を決めて学習を進められるようになってほしいと願っています。

<感染症対策>

元町スタイル『てまきでははは』をしている児童は87%、保護者は94%がお声かけていただいている。『手洗い』『マスク』『距離をとる』に付け加え、マスクを取るか「判断する」、マスクを取ったら「離れる」「話さない」という新しい生活様式を引き続き実践し、安心・安全な暮らし方をみんなで実践していきましょう。

自由記述より

○部活動や宿泊学習の中止など、コロナにより大きな機会の損失を被ってしまった。緊急事態宣言が出てますます学校生活が制限されているが、できる限り通常の学校生活を送らせてあげたい。

⇒緊急事態宣言が発令・延長され、さまざまな行事や活動を中止や制限をすることになり、子どもたちも我慢が続いている。コロナ禍が終息することを願いつつ、コロナ禍でもどうすれば実施できるのか模索していきたいと思います。「保護者の協力が必要なのであれば喜んで協力すると思う」というご意見もいただいている、心強く有難いです。

○一人1台支給されるPC端末を活用した取組があればいい。

⇒6年生の子どもたちはすでに一人に1台ずつタブレットを使い、毎日学習に活用し操作技術もレベルアップしています。今後、もし学級閉鎖などになると、家庭と学校をオンラインでつないで学習を進めることもあるかと思います。教職員も研修し様々な場面でICT機器を使うことにチャレンジしています。低学年の子どもたちも積極的に慣れていくことができるよう進めていきます。子どもはとても吸収力があり、使うたびに上手に使えるようになっています。そんな子どもたちの姿をお知らせできるよう発信の方も考えていきたいと思います。

○個人面談が希望制になり、通知票に3観点評価が導入されたこともあり、成果と課題について具体的にとらえるのは難しいと感じた。

⇒通知票が変更された今年度、休校などにより1学期末には通知票でお示しすることもできませんでした。学校教育説明会ではお話をさせていただいたのですが、十分な説明ができていなかったことを真摯に受け止めていました。わからないことなどがありましたら遠慮なくお尋ねください。

学校運営協議会にて

今回の学校評価アンケートの結果については、2月18日(木)の学校運営協議会にて報告させていただきました。理事の皆様からはコロナ禍での教室の机配置や給食の様子など、たくさんご質問いただき、お伝えさせていただきました。また、地域で子どもたちが元気に遊んでいる姿をよく見かけ、きちんと挨拶をしているとお伺いしました。今後も子どもたちを見守り、元町教育にお力添えをいただければ幸いです。

<+αの取組>

進んで学習をする

■よくできている ■だいたいできている

■あまりできていない ■できていない

